

—低炭素技術と環境にやさしい文化で未来を創る—

# クールくらしきアクションプラン

倉敷市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）



くらしき環境キャラクター  
「くらいふ」

2012年1月13日

倉敷市

環境政策課 地球温暖化対策室

# 倉敷市の概況

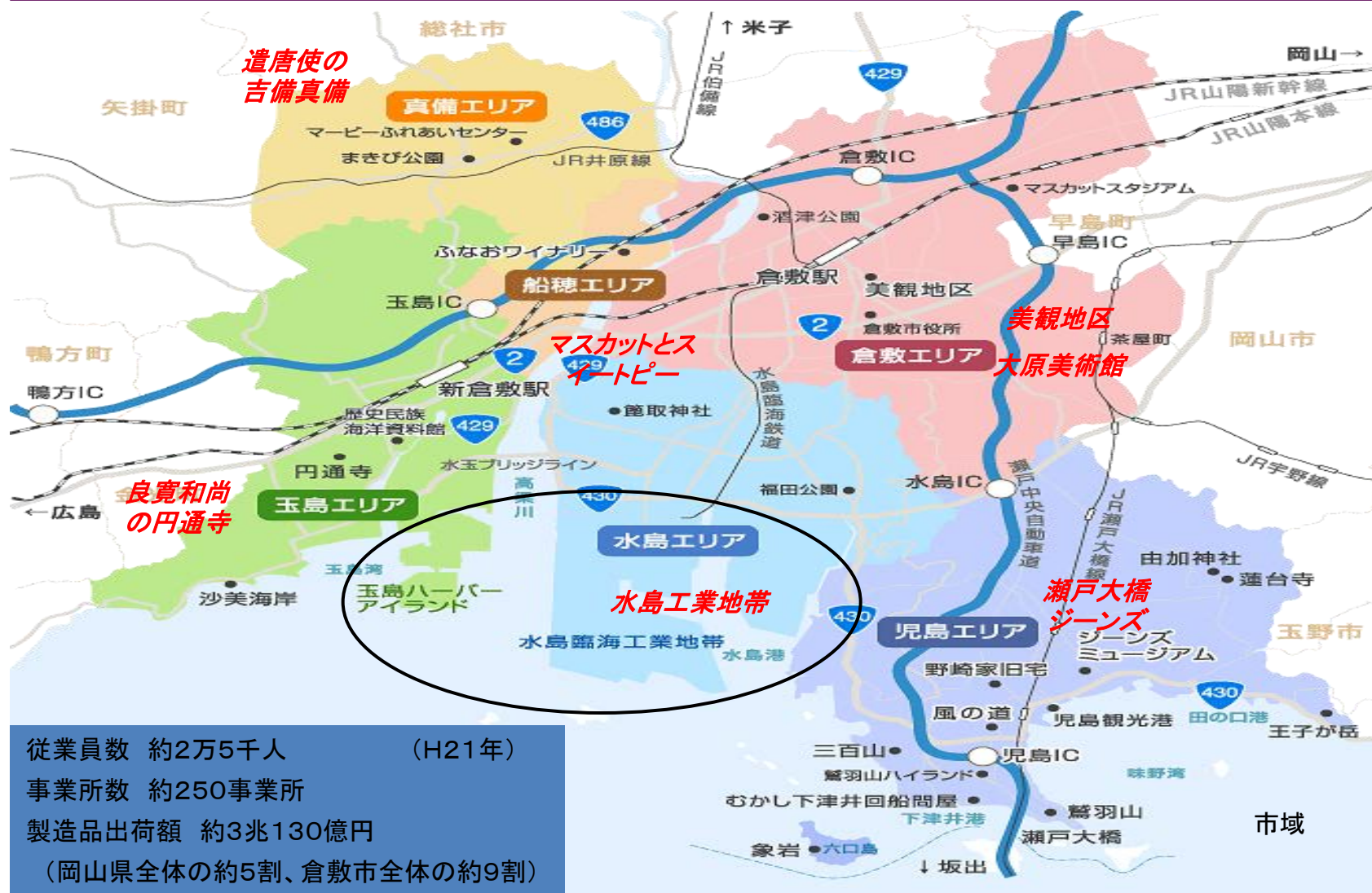
人口 481,761人(H23.12月末)  
世帯数 196,478世帯

面積 354.72km<sup>2</sup>  
宅地 26.1%、山林 16.1%、田 12.9%、  
畑 7.1%、原野 0.7%、池沼 0.1%、  
その他 36.9%



最終合併 平成17年8月1日

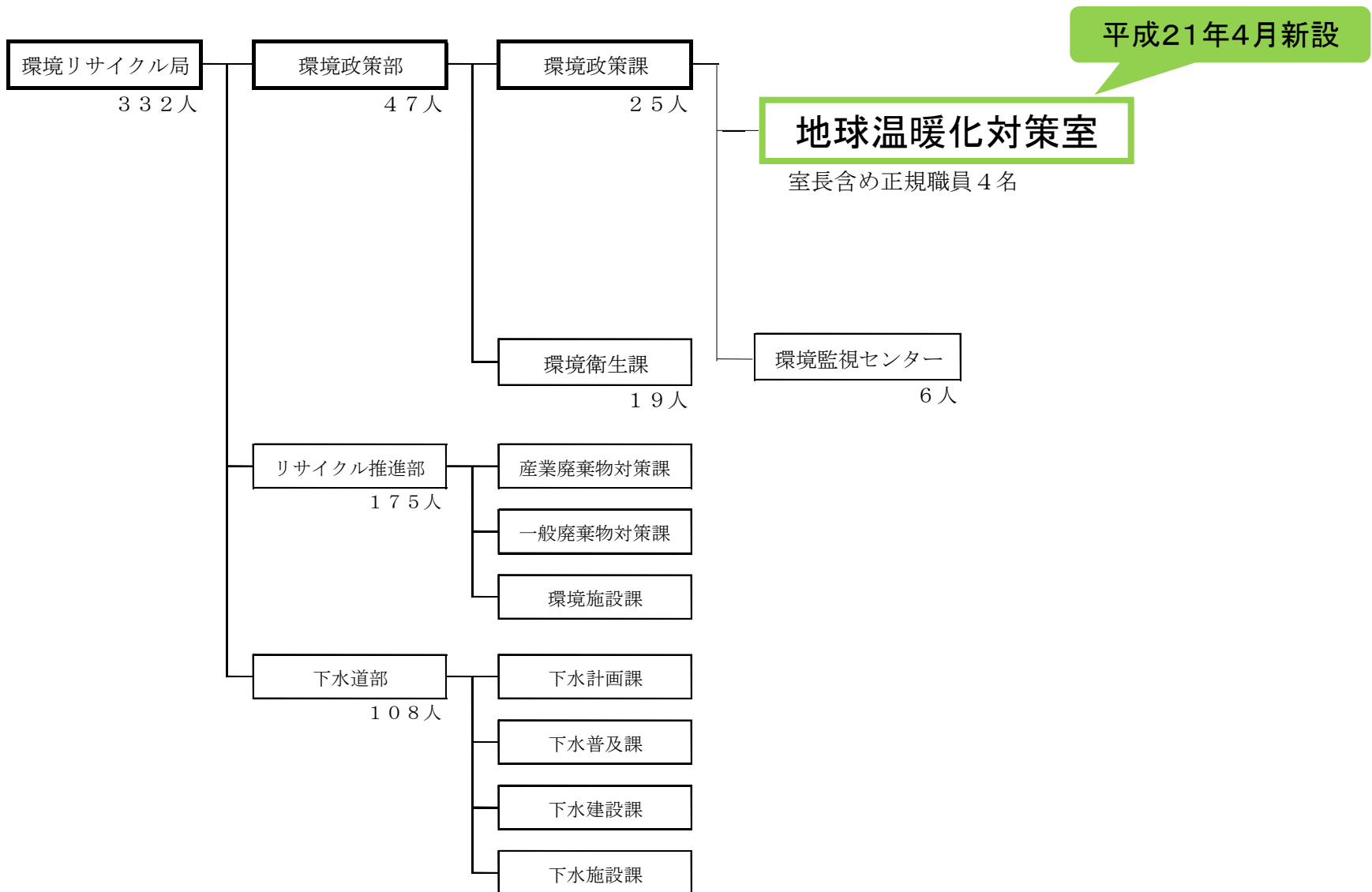
# 倉敷市と水島コンビナートの概況



従業員数 約2万5千人 (H21年)  
 事業所数 約250事業所  
 製造品出荷額 約3兆130億円  
 (岡山県全体の約5割、倉敷市全体の約9割)  
 岡山県 30,129億/66,116億=45.6%  
 倉敷市 30,129億/33,222億=90.7%

最終合併 平成17年8月1日

# 環境リサイクル局の概要（平成23年度）



# 平成23年度 地球温暖化対策室の主な業務内容

---

- ① 倉敷市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の運用
- ② 住宅用太陽光発電システムの設置補助  
(既築・中古住宅 2.5万円/kW、新築・建売住宅 2万円/kW、上限4kWまで)
- ③ 国内クレジット制度の活用(くらしきサンサン倶楽部)
- ④ 電気自動車購入、充電設備設置補助(20万円/台、10万円/基)
- ⑤ 電気自動車の普及モデル事業  
(土・日・祝日に公用の電気自動車3台を市民と県外からの観光客に貸出)
- ⑥ 「グリーンくらしきエコアクション(G-KEA)」の運用
- ⑦ 次期倉敷市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の策定
- ⑧ 省エネ法、温対法、岡山県環境負荷低減条例に基づく調査・報告事務
- ⑨ 緑のカーテン推進とグリーンメイトの募集
- ⑩ 環境イベント「ストップ温暖化くらしき」、出前講座「自然エネルギーキャラバン」の実施

・  
・  
・

# 計画の策定スケジュール

平成21年度

平成22年度

庁内委員会の開催

9/17 9/28

協議会の開催

勉強会の開催(全5回)

温室効果ガス排出量・吸収量の現況および将来推計

市民・事業者へのアンケート調査

市関係部署との  
施策協議

庁内推進体制  
の協議

パブコメ

10/19~11/15

9/13

(第7回)  
素案とり  
まとめ

施策の  
検討・決定

削減目標の  
検討・設定

計画策定

H23.2



# 計画の策定体制

---

## ＜地球温暖化対策実行計画(区域施策編)策定協議会＞

- ◆ 「地球温暖化対策の推進に関する法律」第20条の4に基づき設置。市民・NP0、事業者、学識経験者、地域センター、倉敷市、環境省、岡山県の19名（当初20名）で構成。  
（事業者：JFE、中国電力、三菱化学、日本通運、イオンモール倉敷、倉敷木材、水島エコワークス、水島臨海鉄道）
- ◆ 主に以下の事項について協議し、全7回の会議で素案とりまとめ。
  - ・ 温室効果ガス排出量・吸収量の現況および将来推計
  - ・ 基準年及び目標年
  - ・ 削減ポテンシャル
  - ・ 削減目標
  - ・ 目指すべき市の将来像・基本理念・取組方針
  - ・ 各種施策(重点・一般)

} 別途、協議会の委員長発意による勉強会  
(協議会委員で構成)を5回開催して検討

## ＜庁内委員会＞

- ◆ 市関係部署で構成する庁内委員会を設置。  
（企画経営室、新市・まちづくり推進課、一般廃棄物対策課、観光課、商工課、農林水産課、都市計画課、交通政策課、建築指導課、教育施設課）
- ◆ 全5回開催し、計画策定状況を共有するとともに、市関連施策や庁内推進体制を検討。

# 計画の概要①(基本的事項)

---

## ＜計画の目的及び位置づけ＞

- ◆ 市内のあらゆる主体が率先・協働して低炭素社会の形成に向けた取組を推進することを目的とする
- ◆ 地域の特性を踏まえた地球温暖化対策を総合的かつ計画的に実施するための各主体共通の取組指針とする

## ＜計画の対象＞

- ◆ 市域の温室効果ガスの排出削減並びに吸収作用の保全・強化に関わる全ての事項
- ◆ 京都議定書と同じ6ガス(CO<sub>2</sub>、CH<sub>4</sub>、N<sub>2</sub>O、HFC、PFC、SF<sub>6</sub>)を削減対象とする

## ＜計画の期間＞

2011(平成23)年度から2050(平成62)年度まで

## ＜基準年及び目標年＞

- ◆ 基準年 : 2007年度(排出量の推計精度が最も高い直近年度)
- ◆ 目標年 : 短期「2012年度」(京都議定書第一約束期間の最終年)  
中期「2020年度」(国の中期目標との整合)  
長期「2050年度」(国の低炭素社会づくり行動計画の目標と整合)



## 計画の概要②(温室効果ガス排出量の現状)

◆本市の2007年度温室効果ガス排出量は、約3,960万t-CO<sub>2</sub>。

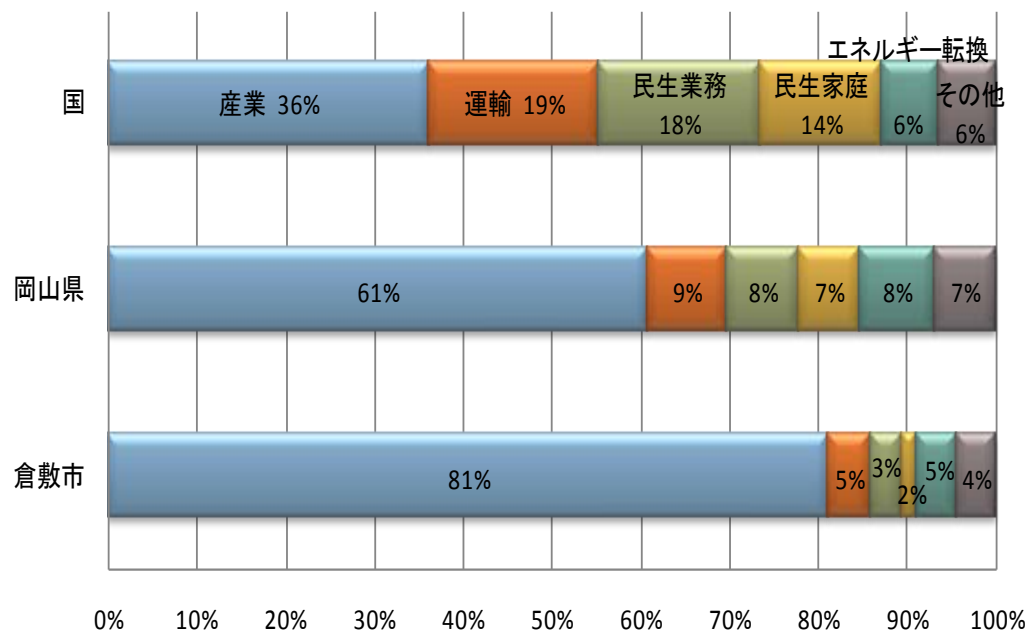
(国の約3%、県の約70%)

※国:約13億6,900万t-CO<sub>2</sub>

＜市の温室効果ガス排出量＞

| 排出源                                     | 2007年度排出量<br>(千t-CO <sub>2</sub> ) |
|-----------------------------------------|------------------------------------|
| 産業部門                                    | 32,128                             |
| 製造業                                     | 32,011                             |
| 非製造業                                    | 117                                |
| 運輸部門                                    | 1,847                              |
| 民生部門                                    | 2,057                              |
| 業務                                      | 1,383                              |
| 家庭                                      | 674                                |
| エネルギー転換部門                               | 1,794                              |
| その他                                     | 1,746                              |
| 工業プロセス部門                                | 1,303                              |
| 廃棄物部門                                   | 98                                 |
| CH <sub>4</sub> 、N <sub>2</sub> O、F-gas | 345                                |
| 総排出量                                    | 39,573                             |

＜市の温室効果ガス排出割合と国・岡山県との比較＞

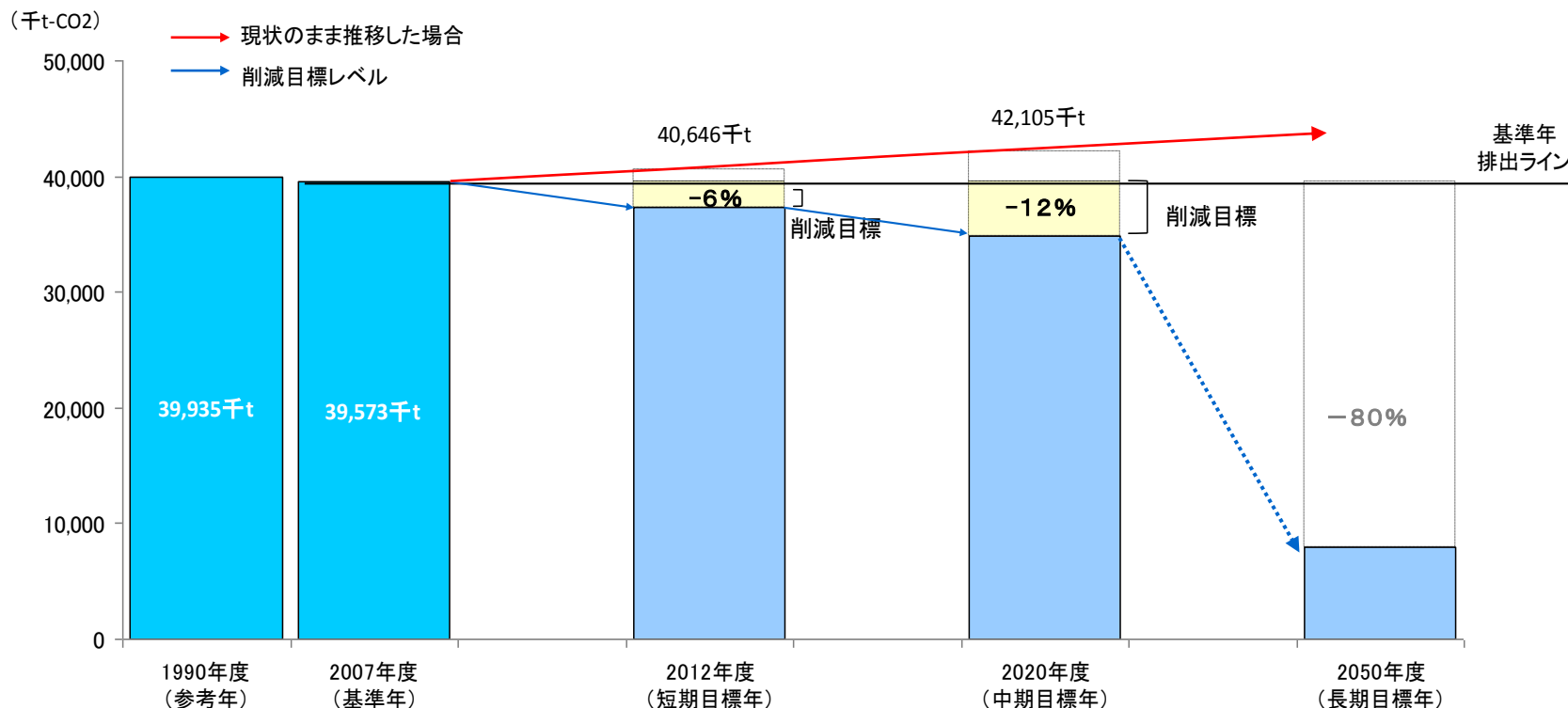


※国の排出量:日本国温室効果ガスインベントリ報告書(2009年4月)より

※岡山県の排出量:「岡山県内の平成19年度温室効果ガス排出量の状況」(2011年1月)より

## 計画の概要③(温室効果ガス排出量の推移と削減目標)

- ◆ 本市より排出される温室効果ガスの今後は、基準年(2007年度)比で 2012年度 +2.7%、2020年度 +6.4%と予測。
- ◆ 排出予測から削減可能量を試算し、目標を設定。
  - <短期目標> 2012年度に基準年比6%削減する
  - <中期目標> 2020年度に基準年比12%削減する  
(※部門別目標:産業部門-12%、運輸部門-11%、民生業務部門-39%、民生家庭部門-49%)
  - <長期目標> 2050年度に基準年比80%削減を目指す



# 計画の概要④(基本理念と取組方針)

## 〈基本理念〉 ー低炭素技術と環境にやさしい文化で未来を創るー

取組方針  
4つの「クール」と1つの「ホット」

### ものづくりを「クール」に <環境調和型産業への転換>

- ・ 高度な生産技術と企業間連携によるものづくりの低炭素化の推進
- ・ ものづくりを通じた世界の温室効果ガス削減

### まちを「クール」に <低炭素型まちづくりの推進>

- ・ 高機能・低炭素型のまちづくりの推進
- ・ 車両の低炭素化、徒歩・自転車・公共交通機関での移動による低炭素型交通体系の構築
- ・ 再生可能エネルギーの積極的利用による資源・エネルギー循環型の社会形成
- ・ 市域の緑化推進

### くらしを「クール」に <低炭素型ライフスタイルへの転換>

- ・ ものを大切にし、自然を大事にする、環境にやさしい生活様式への転換
- ・ 快適さと高い省エネルギー性能を兼ね備えた住空間づくりの推進

### 観光を「クール」に <環境調和型観光地づくりの推進>

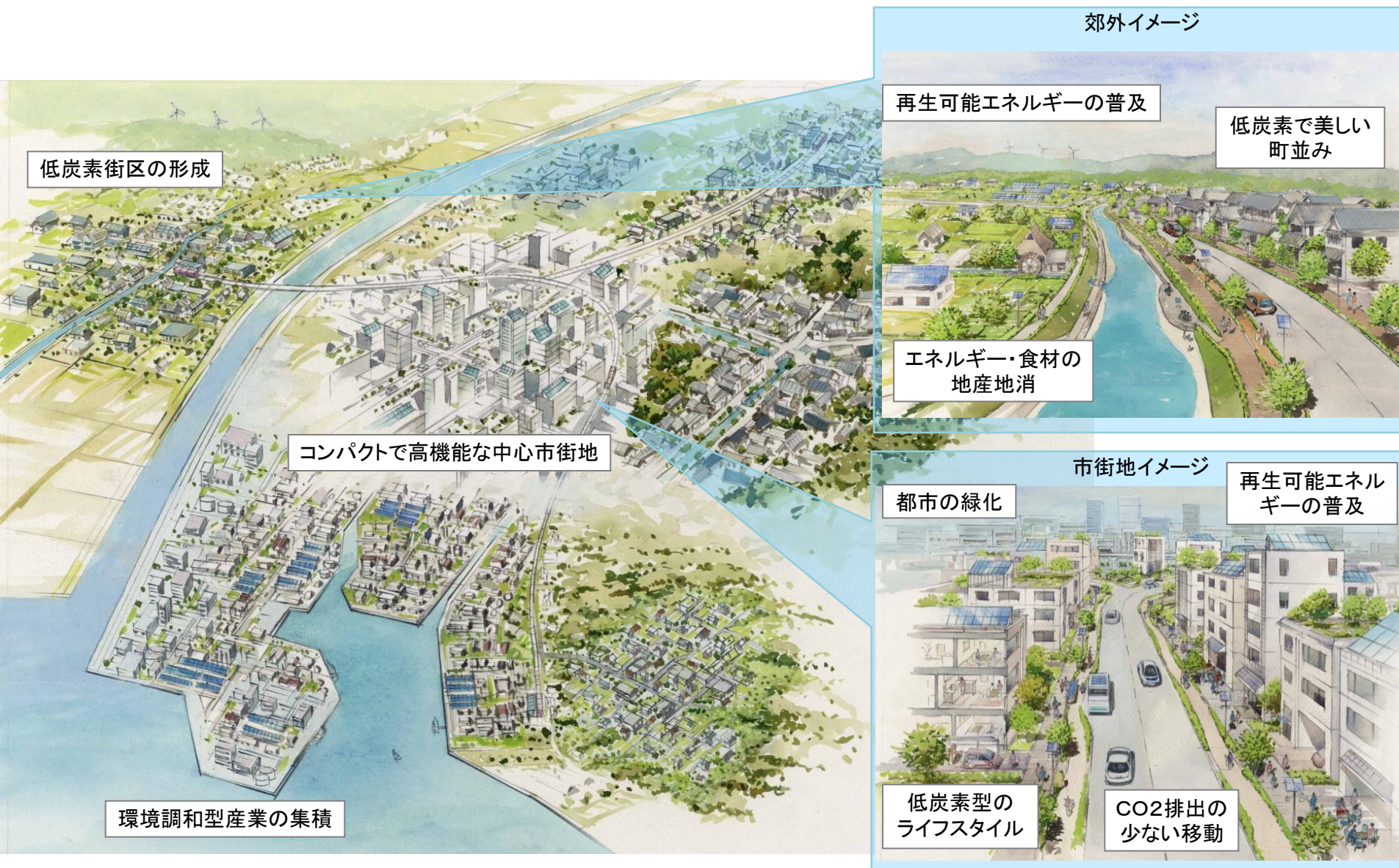
- ・ 環境に配慮した観光地づくりの推進
- ・ 人と環境にやさしいおもてなし観光の推進

### つながりを「ホット」に <主体間交流・連携の強化>

- ・ 主体間の交流・連携を促進する環境整備の推進



# 計画の概要⑤(目指すべき低炭素都市のイメージ)

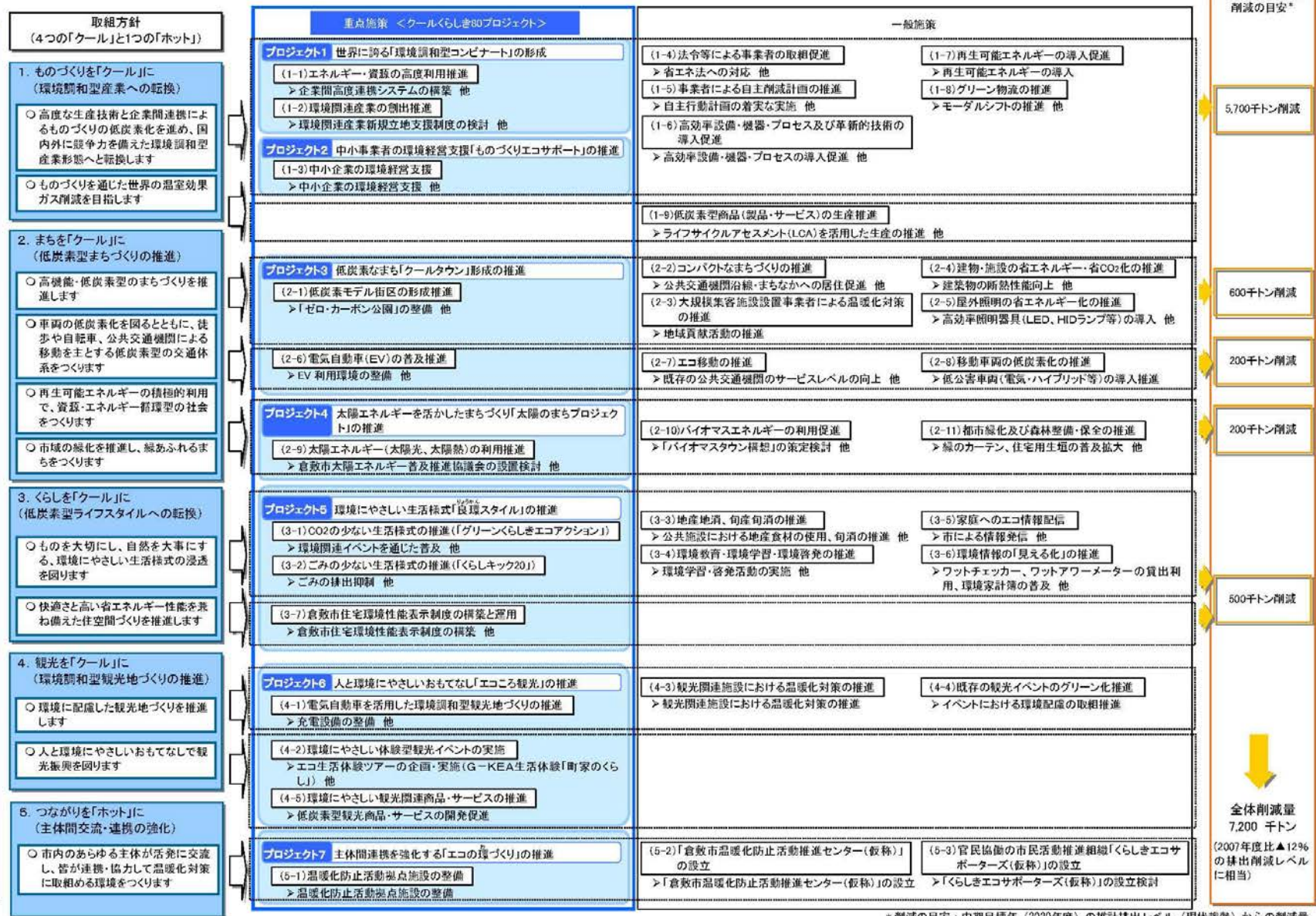




# 計画の概要⑥(施策体系)

基本理念

低炭素技術と環境にやさしい文化で未来を創る



\*削減の目安：中期目標年(2020年度)の推計排出レベル(現状趨勢)からの削減量

# 計画の概要⑦(重点施策<クールくらしき80>プロジェクト)

- ◆ 地域特性を活かしつつ、温室効果ガス削減の波及効果・先進性が高い施策のうち、重点的に取り組む13の施策を<クールくらしき80>プロジェクトとして設定。

※「クール」には、「冷やす」といった意味の他にも「カッコいい」という意味が含まれていることから、自ら率先して温暖化対策に取り組み、快適で過ごしやすいクールなくらしを実現することと、そうした取組を通じて世界が認めるクールな低炭素都市くらしを実現するという思いを込めている。「80」は長期目標の数値を低炭素都市の実現に向けた象徴的な数字として用いている。

◆プロジェクト1 世界に誇る「環境調和型コンビナート」の形成

◆プロジェクト2 中小事業者の環境経営支援「ものづくりエコサポート」の推進

◆プロジェクト3 低炭素なまち「クールタウン」形成の推進

◆プロジェクト4 太陽エネルギーを活かしたまちづくり「太陽のまちプロジェクト」の推進

◆プロジェクト5 環境にやさしい生活様式「良環スタイル」の推進

◆プロジェクト6 人と環境にやさしいおもてなし「エコころ観光」の推進

◆プロジェクト7 主体間連携を強化する「エコの環づくり」の推進





# プロジェクト1 世界に誇る「環境調和型コンビナート」の形成

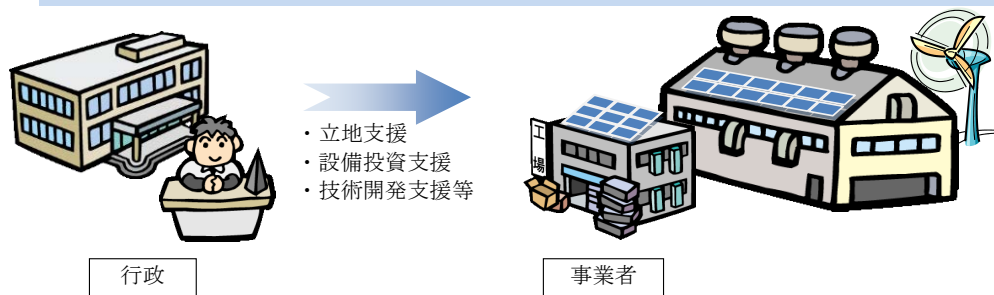
## 1-1 エネルギー・資源の高度利用推進



### <概要>

水島コンビナートの企業間における資源・エネルギーの相互融通や、副生成物・廃棄物・未利用エネルギー等の高度活用を促進し、コンビナート全体での資源・エネルギー利用の最適化を積極的に推進する。

## 1-2 環境関連産業の創出推進



事業者

環境関連事業の推進  
(例)

- ・省エネルギー化の推進
- ・再生可能エネルギーの導入
- ・新技術の研究開発や導入等
- ・資源・エネルギーリサイクルの推進

### <概要>

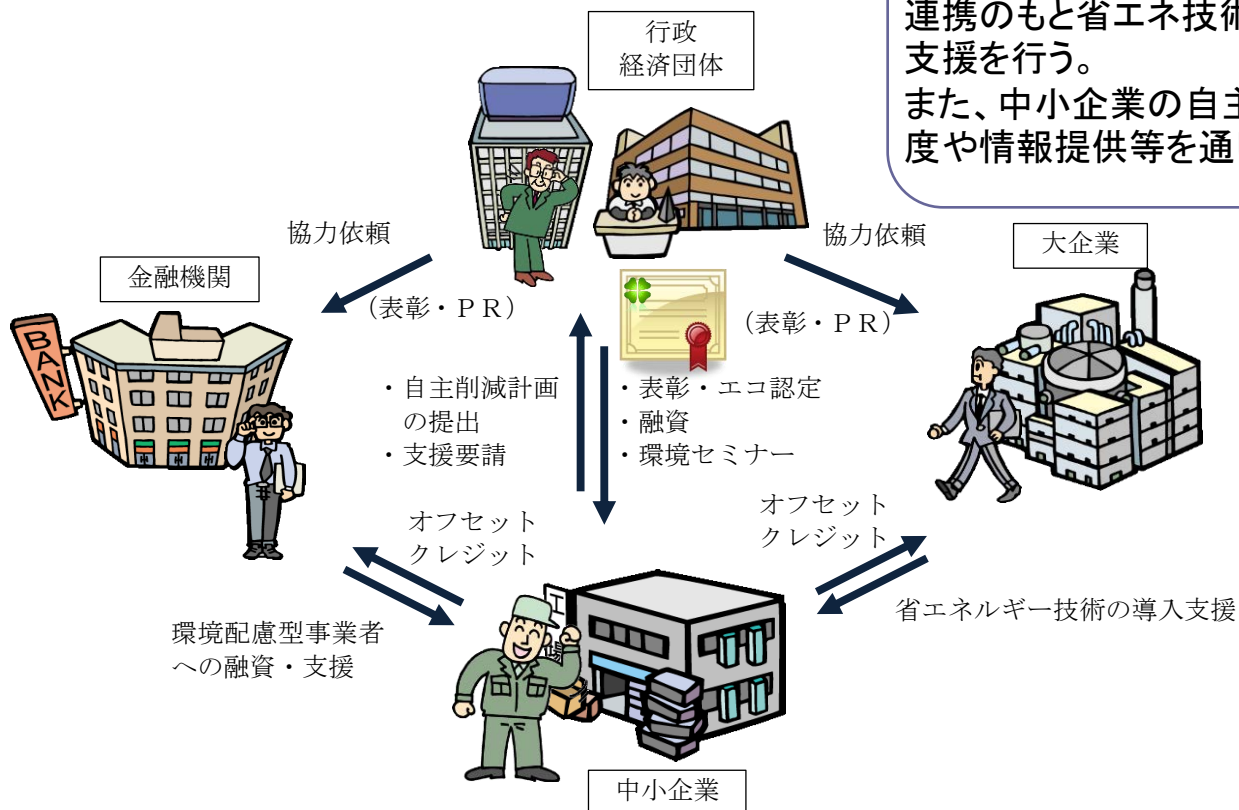
水島コンビナート地区を中心として、環境関連事業者の新規立地を推進するとともに、温室効果ガス削減に資する新技術の研究開発や設備投資を推進し、環境関連産業の創出による環境調和型産業の集積を図る。

# プロジェクト2 中小事業者の環境経営支援 「ものづくりエコサポート」の推進

## 1-3 中小企業の環境経営支援

### <概要>

中小企業の省エネ・省CO<sub>2</sub>対策等を促進するため、官民連携のもと省エネ技術の供与や人材育成、融資等の各種支援を行う。  
また、中小企業の自主的な取組を促進するため、評価制度や情報提供等を通じて普及啓発を行う。



# プロジェクト3 低炭素なまち「クールタウン」形成の推進

## 2-1 低炭素モデル街区の形成推進

(例)「ゼロ・カーボン公園」

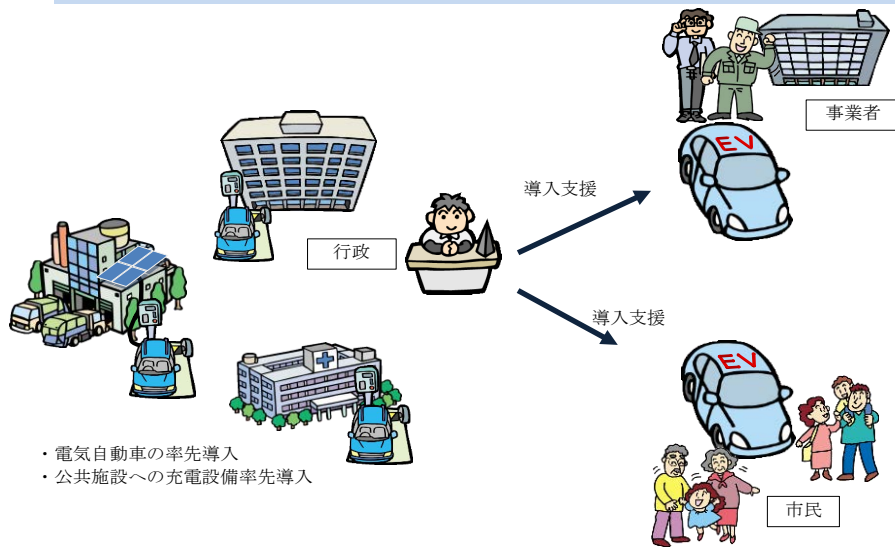


(例)「エコモビリティ」の面的普及

### <概要>

低炭素型まちづくりの先例となる先進的な取組を一定規模の街区で実証実験し、市民への啓発を図るとともに、効果の高いものについて、全市的な展開を図る。

## 2-2 電気自動車(EV)の普及推進



- ・電気自動車の率先導入
- ・公共施設への充電設備率先導入

### <概要>

EVの生産地として、産学官が連携のもとEVの普及に向けたインフラ整備やモデル事業等を行う。

# 【施策例①】 電気自動車・充電設備導入費補助制度

## 1 補助制度導入に至る背景と経過

平成21年度に岡山県が設立した「岡山県電気自動車等普及推進協議会」に倉敷市も参画し、電気自動車等の普及・導入について協議した。

(学識経験者、経済団体、電力会社、自動車製造会社、国、3市、警察等 19団体)

その取組方針に、「電気自動車の導入支援」、「充電インフラの整備」や「保有車両を活用したカーシェアリング」が採用され、平成22年度から、岡山県とともに電気自動車の購入補助と充電施設の設置補助、電気自動車の貸出モデル事業を行っている。

## 2 補助制度の概要

### ① 電気自動車

対象車種: アイ・ミーブ(三菱自動車工業)、リーフ(日産自動車)など  
(一般社団法人 次世代自動車振興センターの補助対象車に準じている)

補助金額: 20万円／台

### ② 充電設備

対象機種: 急速充電設備もしくは入力電圧が200V以上の充電設備

補助金額: 10万円／基

### ◆平成22年度補助制度の利用状況

① 電気自動車 申請件数: 42台 (法人: 31社、個人: 11人)

② 充電設備 申請件数: 1基

### ◆平成23年度補助制度の利用状況

① 電気自動車 申請件数: 57台 (法人: 20社、個人: 37人)

② 充電設備 申請件数: 2基



## 【施策例②】 電気自動車普及モデル事業

EVの普及促進を図るため、体験試乗として、市民・観光客を対象に市の公用車であるEVを無料貸出。

【貸出期間】6月～11月の土日祝日(閉庁日)の1日(9時～16時)

### 事業結果(H22年度)

#### (1) 利用状況

- ① 市民用 113組(稼働率 93%)
- ② 観光客用 32組(稼働率 70%)

#### (2) 走行距離

平均66km/日(3台の合計 9,521km)

#### (3) 訪問地

- ① 市民  
買い物やドライブ(児島、鷺羽山、吉備路)
- ② 観光客  
観光、ドライブ(美観地区、鷺羽山、吉備路)

#### (4) 感想

- ・試乗体験を通して未来の車に対する考え方を見直した。
- ・電気自動車の普及に取り組む上で非常に有意義である。
- ・良い企画です。継続してほしい。
- ・電気自動車の性能を確認する良い機会になった。
- ・もっと多くの人に試乗させてほしい。
- ・走行距離が短すぎるので、不安を感じる。
- ・価格がもう少し安くないか。

### 事業結果(H23年度)

- 市民用 86組(稼働率 76%)
- 観光客用 30組(稼働率 55%)

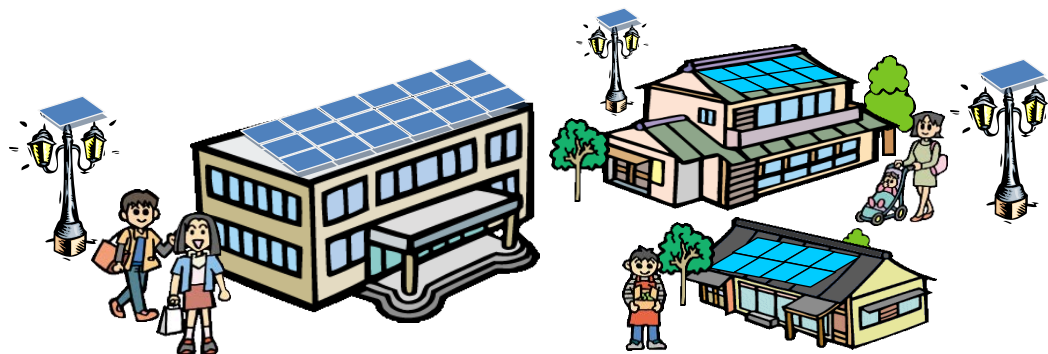


# プロジェクト4 太陽エネルギーを活かしたまちづくり 「太陽のまちプロジェクト」の推進

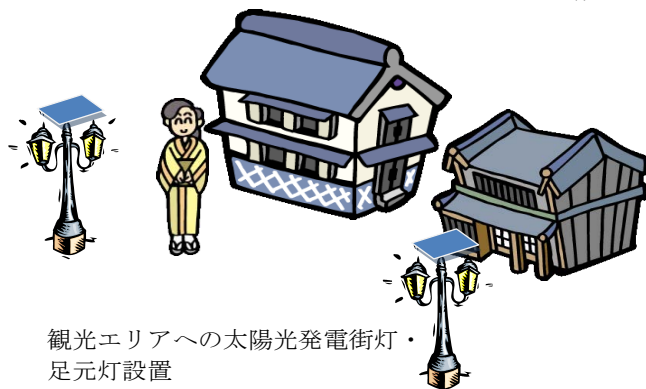
## 2-3 太陽エネルギー(太陽光、太陽熱)の利用推進

### <概要>

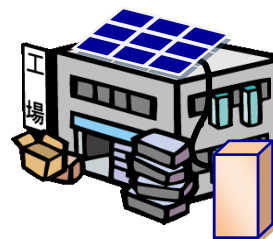
日照条件に恵まれた本市の特性を活かして、公共施設・住宅・工場・事業所・大規模集客施設等あらゆる場所での太陽光発電システム・太陽熱温水器等の導入を促進し、全国有数の太陽エネルギー利用都市を目指す。



住宅・公共施設・事業所への  
太陽エネルギー導入



観光エリアへの太陽光発電街灯・  
足元灯設置



# 【施策例③】住宅用太陽光発電システムの設置補助

## 1 補助制度の概要

(1) 開始年度:平成16年度

(2) 補助金額:平成16～18年度 3万円／kW

平成19～20年度 1万5千円／kW

平成21～22年度 3万円／kW

平成23年度～ 既築・中古 2万5千円／kW

新築・建売 2万円／kW (上限は各年度とも4kW)

## 2 補助実績等

(1) 補助件数と予算額:平成16年度 183件、 2,470万円

平成17年度 299件、 3,447万円

平成18年度 292件、 3,060万円

平成19年度 226件、 2,000万円

平成20年度 281件、 2,000万円

平成21年度 953件、 10,510万円

平成22年度 979件、 10,700万円

3,213件

平成23年度 1,455件(12月末現在)

(2) 市内設置件数 5,346件(H22年度末・中国経済産業局調べ)

## 【施策例④】公共施設における太陽光発電システムの導入

|    | 施 設 名       | 発電能力(kW) | 設置年月   |
|----|-------------|----------|--------|
| 1  | 真備図書館       | 20       | H12.2  |
| 2  | クルクルセンター    | 20       | H16.10 |
| 3  | 船穂公民館       | 30       | H17.3  |
| 4  | 倉敷翔南高校      | 10       | H17.3  |
| 5  | 長尾小学校       | 5        | H19.4  |
| 6  | 倉敷南小学校      | 5        | H20.4  |
| 7  | 北中学校        | 10       | H22.11 |
| 8  | 船穂支所・武道館    | 20       | H22.12 |
| 9  | 真備総合公園体育館   | 30       | H22.12 |
| 10 | 玉島児童館       | 3        | H22.7  |
| 11 | 連島憩いの家      | 5        | H23.1  |
| 12 | 郷内公民館       | 5        | H23.2  |
| 13 | 黒崎中学校       | 5        | H23.2  |
| 14 | 環境交流スクエア    | 25       | H23.3  |
| 15 | 本庁舎         | 50       | H23.3  |
| 16 | 下津井西小学校 管理棟 | 5        | H23.3  |
| 17 | 第一中学校 管理棟   | 5        | H23.3  |
| 18 | 児島競艇場       | 3        | H23.7  |
| 19 | 児島市民交流センター  | 30       | H23.7  |
| 20 | 玉島市民交流センター  | 30       | H23.12 |
|    | 合 計         | 316      |        |



## (参考) 倉敷市役所本庁舎 太陽光発電システム



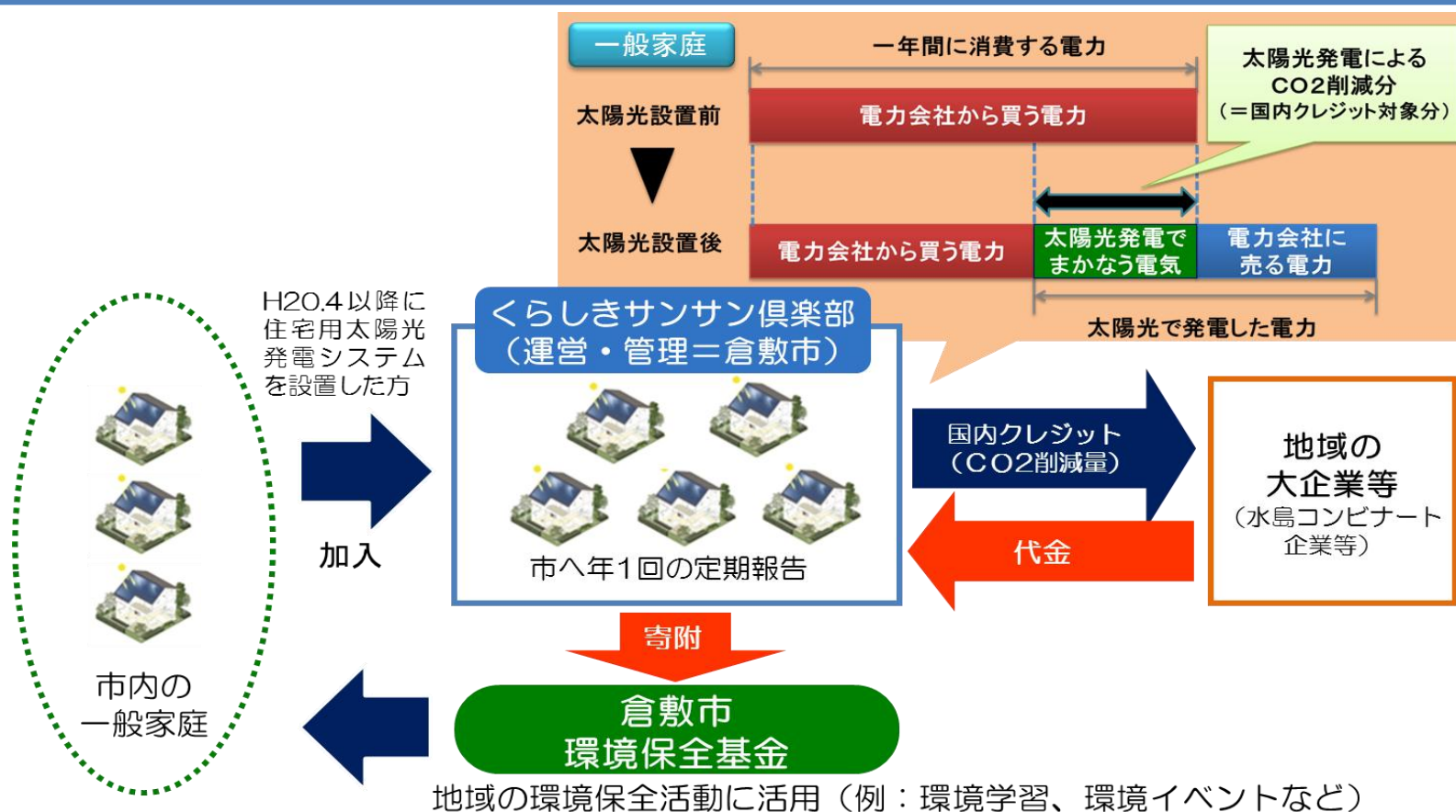
### 太陽光発電システム 機器仕様

設置場所 : 本庁舎 屋内駐車場屋上  
 運用開始日 : 平成23年3月8日  
 出力 : 50kW  
 モジュール数 : 60枚 × 4列 = 240枚  
 モニター : (屋内)42型液晶ディスプレイ  
                     — 発電状況、日報、月報、年報等  
                     (屋外)LED表示— 発電電力、発電電力量  
 事業費 : 約5千万円(地域グリーンニューディール基金)

年間推定発電量 : 52,500kWh  
 年間CO2削減量 : 35.4トン  
 年間電気料金削減額: 約66万円

## 【施策例⑤】国内クレジット制度の取組（くらしきサンサン倶楽部）

- 国内クレジット制度とは、大企業の技術・資金等によって中小企業等が削減した温室効果ガス排出量をクレジット（排出枠）として認証し、大企業等が自主行動計画の目標達成等に活用する制度。
- 本市の太陽光補助制度を利用した市民（市補助対象者）の排出削減分を、国内クレジットとして地域の企業等へ売却し、その収益を地域の環境保全活動に活用する仕組。
- 同様の自治体主導型排出削減事業は、大分県、東温市、岐阜市、長崎県に続き、本市が5例目（中国地方初）。
- 本年2月に開催される第23回国内クレジット認証委員会においてクレジット認証される予定。



# プロジェクト5 環境にやさしい生活様式「良環<sup>りょうかん</sup>スタイル」の推進

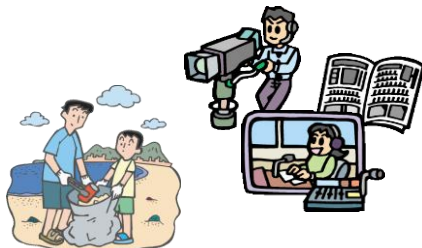
## 3-1 CO2の少ない生活様式の推進（「グリーンくらしきエコアクション」）



環境にやさしい町家の生活様式の体験



「G-KEA」の推進



地元メディアによる「G-KEA」の情報配信・普及啓発



環境関連イベントの実施やイベントを通じた普及啓発

### ＜概要＞

平成21年度に策定したエコ活動の指針「グリーンくらしきエコアクション」（「G-KEA」）の内容を広く市民、事業者に周知して、エコ行動を促すことにより、低炭素型ライフスタイルへの転換を進める。

## 3-2 ごみの少ない生活様式の推進（「くらしキック20」）

ペットボトルのステーション回収



- ・マイバッグ・マイ箸運動
- ・ごみ分別細分化の推進



- ・ごみの再資源化
- ・リサイクルの推進

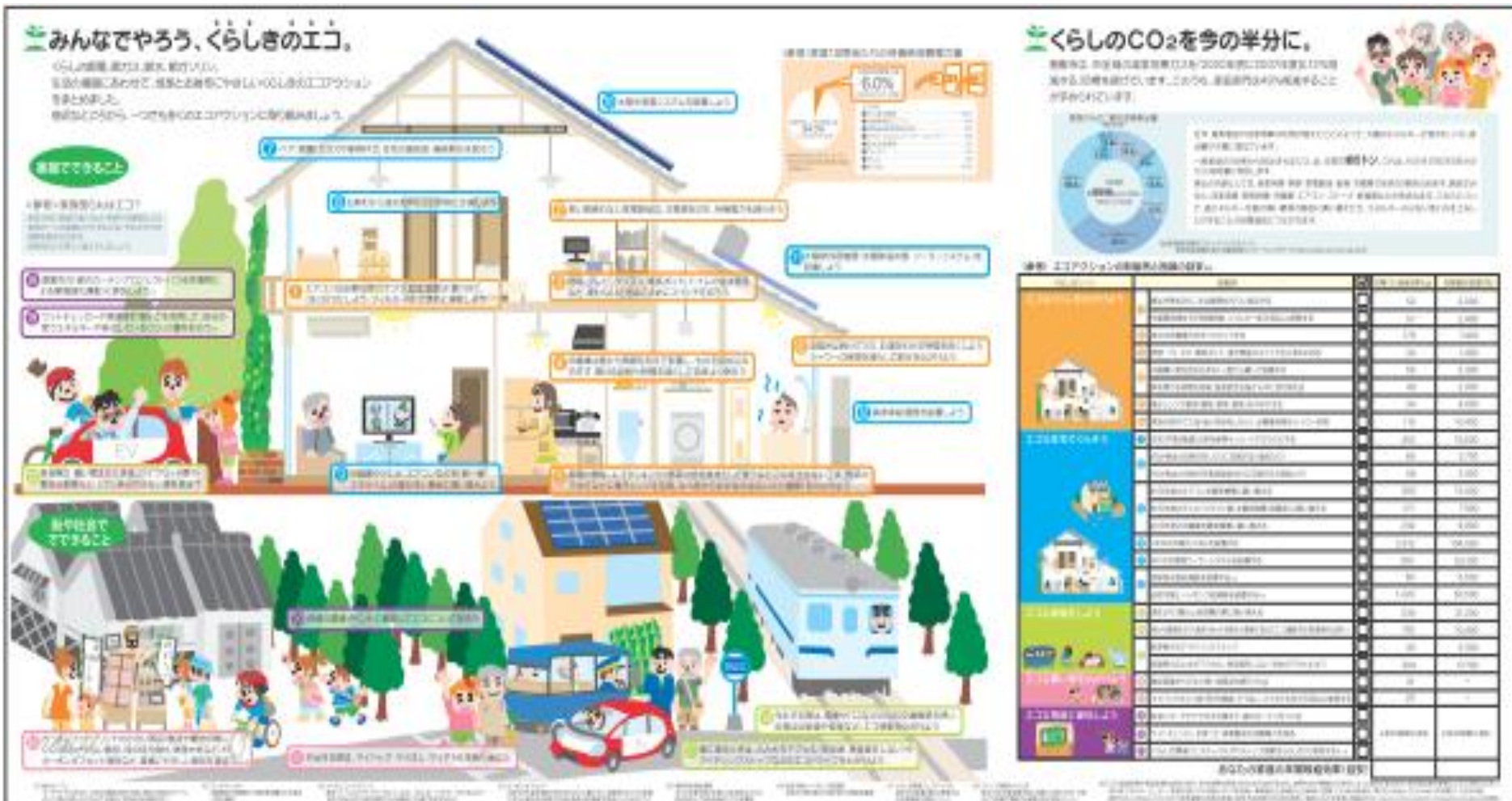


### ＜概要＞

全国でも高水準のリサイクル率を誇る本市において「低炭素型・循環型社会」の形成を一層進めるため、マイバッグ・マイ箸運動やごみ分別細分化、ペットボトルのステーション回収や食品残渣の堆肥化等、ごみ減量と再資源化に向けた取組を推進する。



## 【施策例⑥】グリーンくらしきエコアクション（G-KEA） 改訂版



# 【施策例⑦】「ストップ温暖化くらしき2011」の開催（平成23年12月11日）

市民の方に地球温暖化問題について感心を持ち、温暖化対策への行動を始めてもらうことを目的として、市民団体やNPOと協働して平成20年度から実施している。  
平成21年度に「グリーンくらしきエコアクション」を取りまとめたことから、その普及も目的としている。

【実績】 平成23年度 来場者数 約4,000人





# 【施策例⑧】緑のカーテン推進とグリーンメイトの募集

## 1 事業の概要

ゴーヤやアサガオなどのつる性植物で窓を覆い、その遮光効果と蒸散作用により室温を下げ、エアコンの使用に伴う電気使用量を減らし、温室効果ガスの削減につなげる。

家庭等で手軽にできることから、温暖化問題に対する啓発効果が高い。平成20年度から実施。

平成22年度からは、「緑のカーテンコンテスト」を行っている。

## 2 事業の状況

- ゴーヤとアサガオの種を市民に配布： ゴーヤ 3,000袋、 アサガオ 1,500袋
- ゴーヤとアサガオの苗を市民に配布： 市職員やグリーンメイトが育てた苗を環境イベントで市民に配布。
- くらしきグリーンメイトの募集(H21～)

緑のカーテンの普及活動員を随時募集。種の優先配布や苗を育てるポットを配布。

- 緑のカーテンコンテストの実施(H22～)

家庭や事業所等で育てた緑のカーテンの出来栄を写真で応募。市民投票等で優秀賞を選定。



緑のカーテンコンテスト作品



緑のカーテンコンテスト表彰式

## 【施策例⑨】環境出前講座（自然エネルギーキャラバン）

主に小学校5、6年生を対象に、地球温暖化の問題や自然エネルギーについて知ってもらい、家庭生活の中で省エネに取り組んでもらうことを目的として、認定NPO法人に委託して出前講座を行っている。平成17年度から継続して実施中。

＜実績＞のべ31校2739名（H23年12月末時点）



温暖化の説明



クイズ



ペレットストーブ



太陽光パネル



風力発電



自転車発電



# 【施策例⑩】官民協働による普及啓発活動(家庭の省エネ診断)



## 省エネ対策(エアコン編)

エアコンは快適ですが、エネルギーを多く消費します。

●●●エアコンの節電方法●●●

夏



かなり効果的です！



エアコンの運転は、

- ・帰宅したらまず換気
- ・設定温度は、28℃が省エネ基準です  
(1℃上げれば、10%節電)
- ・温度を下げるより風量を上げましょう
- ・扇風機を使って涼しい服装でリラックス

さらに節電！

- ・緑のカーテン、よしず、すだれを設置  
(10%節電)
- ・エアコンをつける時間を短くしましょう  
(1日1時間停止で、10%節電)
- ・2週間に1度のフィルター掃除で5%の節電
- ・室外機は、壁から10cm離し、直射日光を防ぐ対策をしましょう

冬



エアコンの運転は、

- ・設定温度は、20℃が省エネ基準です。  
(1℃下げれば、10%節電)
  - ・「おまかせモード」で効率よく
  - ・扇風機を使って空気を循環させましょう
  - ・家族で同じ部屋で過ごしましょう
- さらに節電！
- ・熱を逃さないようカーテンを引きましょう
  - ・暖房と台所などを、のれんで仕切りましょう
  - ・エアコンをつける時間を短くする  
(1日1時間停止で、10%節電)
  - ・2週間に1度のフィルター掃除で5%の節電
  - ・室外機は、壁から10cm離しましょう

- 主催：くらそう(恵敷・福祉環境化対策協議会)
- 共催：恵敷市
- お問い合わせ：くらそう 伊藤豊彦 TEL090-7549-9550

古いエアコンは、思い切って省エネタイプに買い替えましょう  
およそ40%の電気代節約になるよ☆

# 【施策例⑪】住宅用LED電球、LED照明への取替え補助(H22年度のみ)



## 1 補助制度の概要

- (1) 白熱灯をLED電球に交換した場合、電球代の半額補助(上限1万円)
- (2) 照明器具をLED照明器具に工事を伴って取り替えた場合、照明器具代の半額補助(上限5万円)

## 2 補助実績と予算額

- (1) 白熱灯の交換 申請件数 998件、補助金額 7,346,500円、電力削減量 241,914W
- (2) 照明器具の交換 申請件数 68件、補助金額 2,670,100円、電力削減量 4,994W



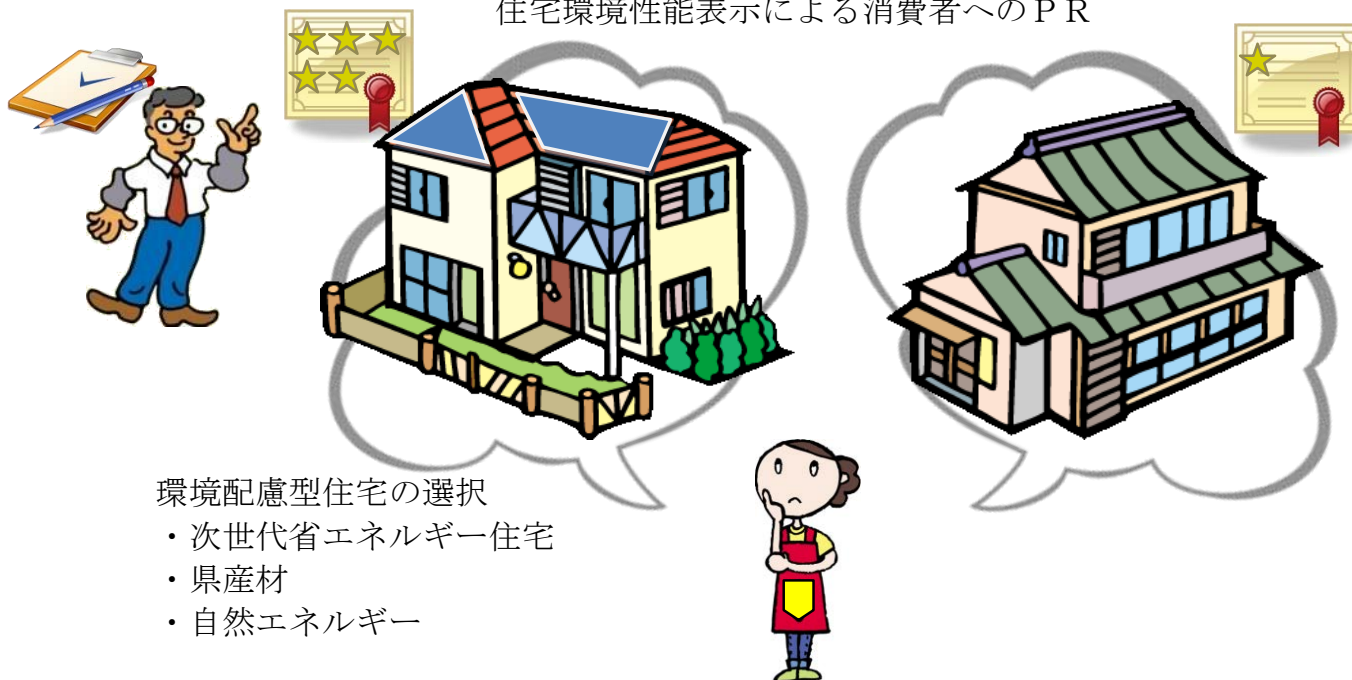
# プロジェクト5 環境にやさしい生活様式「良環スタイル」の推進<sup>りょう かん</sup>

## 3-3 倉敷市住宅環境性能表示制度の構築と運用

### <概要>

住宅建築物において、県内産木材の使用や太陽エネルギーの利用等、本市の地域特性を活かした環境配慮型住宅の普及を推進するため、消費者の判断基準となる本市独自の住宅環境性能評価基準を策定する。また、その基準に基づくチラシ、パンフレット等への性能表示を住宅供給事業者等と協力して進める。

### 住宅環境性能表示による消費者へのPR

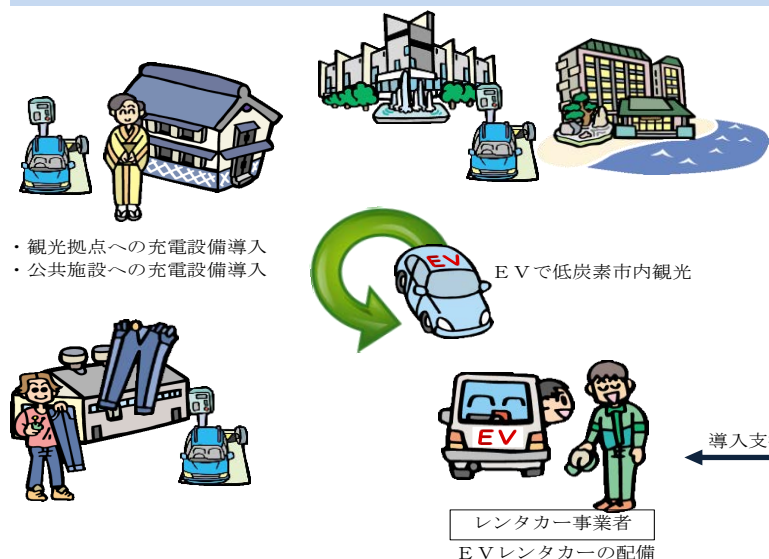


#### 環境配慮型住宅の選択

- ・次世代省エネルギー住宅
- ・県産材
- ・自然エネルギー

# プロジェクト6 人と環境にやさしいおもてなし「エコころ観光」の推進

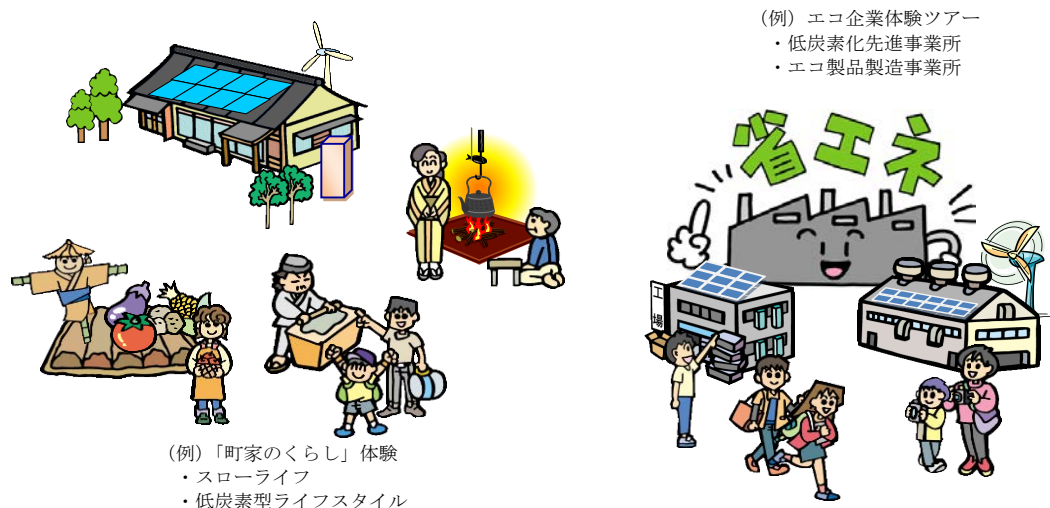
## 4-1 電気自動車を活用した環境調和型観光地づくりの推進



### <概要>

「美観地区」をはじめとして観光資源が点在する本市において、レンタカー会社へのEV導入促進や観光客へのEV利用優遇策等を図り、EVを活用した観光の低炭素化を推進する。

## 4-2 環境にやさしい体験型観光イベントの実施



### <概要>

環境にやさしい町家生活の体験や、先進的な温暖化対策を行う企業の見学等、環境をテーマにした体験型観光イベントの実施による低炭素型ライフスタイルの普及啓発を図る。

# 【施策例②】 電気自動車普及モデル事業(再掲)



倉敷市では、岡山県外から倉敷市へ観光に来られた方に、市が所有している電気自動車<アイ・ミーブ>を無料でお貸しします。

貸出日：6月～11月の土・日・祝日(8月13・14日を除く)の9時から16時まで

事前に電話予約が必要です。(受付：月～金の8:30～17:15)

## 申込条件

21歳以上70歳未満で普通免許を持っておられる方。  
(但しペットの同乗は不可。6歳未満の幼児を乗せる場合はチャイルドシートをご持参ください。)

貸出は倉敷市役所本庁舎で行います。

## 注意事項

また、倉敷市電気自動車貸出要領、電気自動車の貸出に関する約定(ホームページに記載)に同意願います。  
\*定員に達し次第、受付を終了させていただきます。

走行中に、二酸化炭素を排出しない電気自動車<アイ・ミーブ>で、市内を観光していただき、電気自動車の乗り心地と倉敷の良さを体感してください。



アイ・ミーブは市内にある三菱自動車工業株式会社 水島工場で生産されています。



白壁の街並み



倉敷美観地区



倉敷美観地区



瀬戸大橋を望む

倉敷市は「環境最先端都市」を目指しています。

<お問い合わせ&お申し込み先>

倉敷市 地球温暖化対策室

〒710-8565 岡山県倉敷市西中新田640

TEL(086) 426-3394 FAX(086) 426-6050

E-mail [eptc@city.kurashiki.okayama.jp](mailto:eptc@city.kurashiki.okayama.jp)

URL <http://www.city.kurashiki.okayama.jp/ontai>



くらしき環境キャラクター「くらしふ」



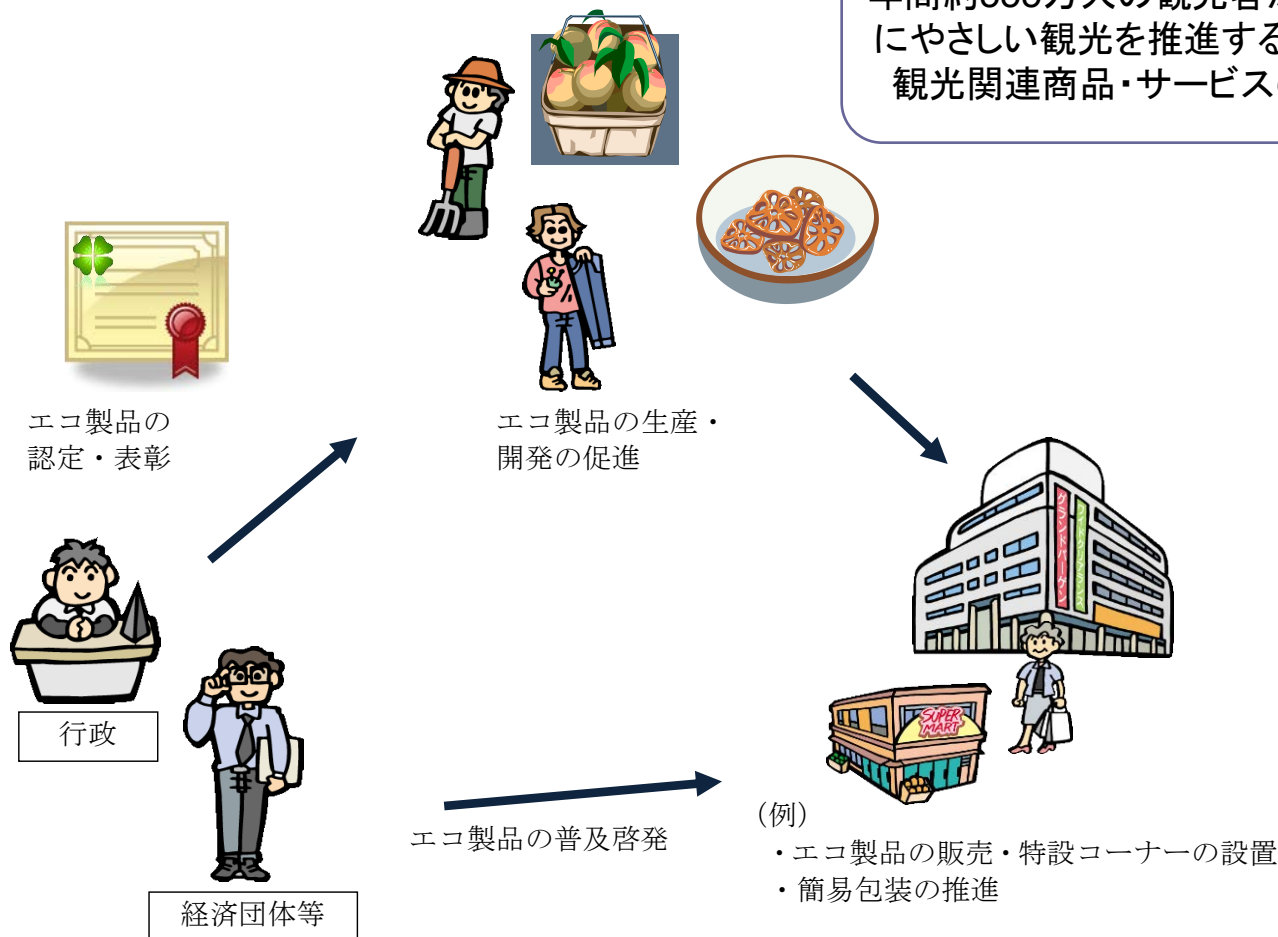


# プロジェクト6 人と環境にやさしいおもてなし「エコころ観光」の推進

## 4-5 環境にやさしい観光関連商品・サービスの推進

### <概要>

年間約555万人の観光客が訪れる本市において、環境にやさしい観光を推進するため、CO2排出量が少ない観光関連商品・サービスの生産・消費を促進する。



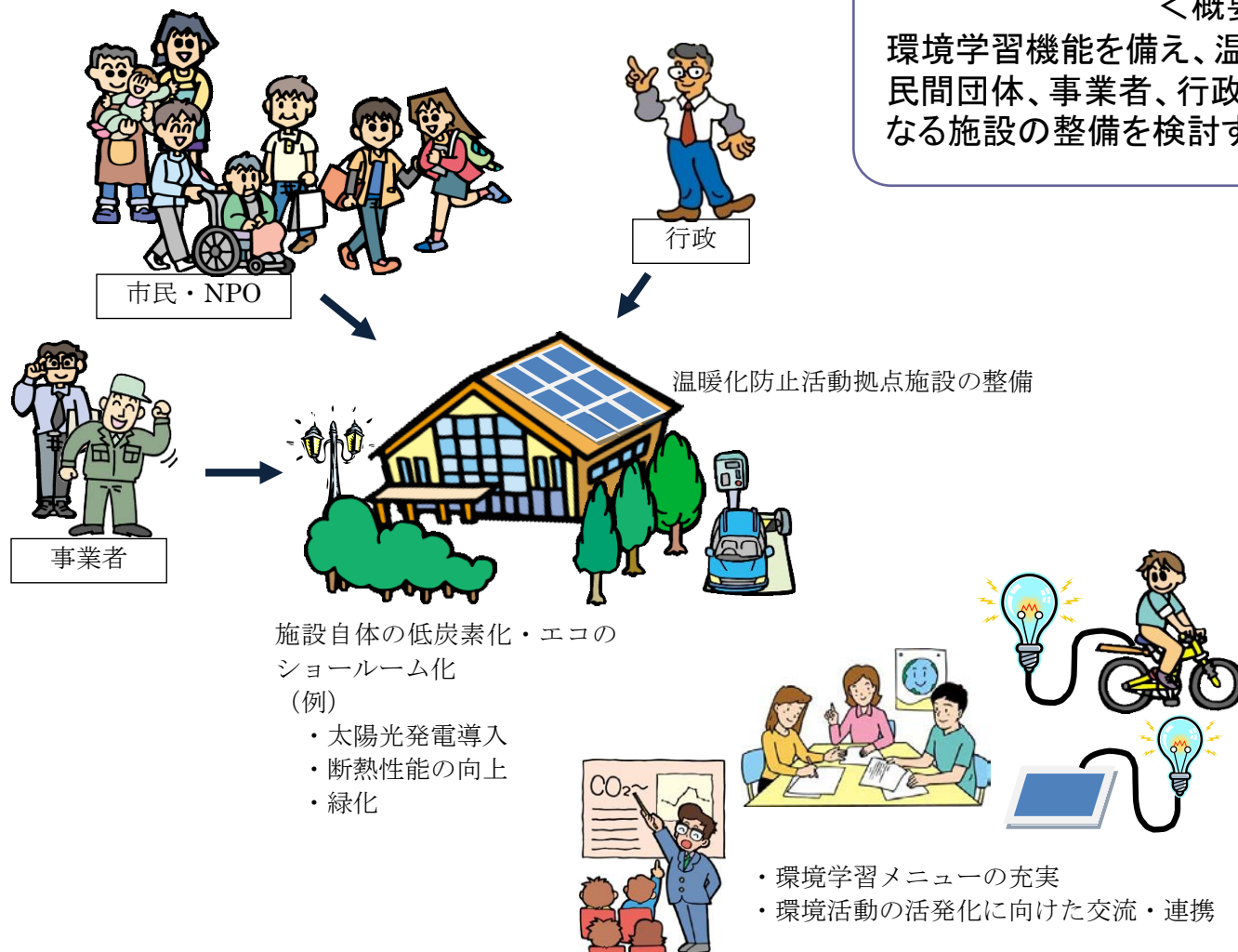


# プロジェクト7 主体間連携を強化する「エコの環づくり」の推進<sup>わ</sup>

## 5-1 温暖化防止活動拠点施設の整備

### <概要>

環境学習機能を備え、温暖化対策を行う市民・民間団体、事業者、行政の活動・交流の拠点となる施設の整備を検討する。



# 【施策例⑫】 環境学習施設の整備

- 本市における環境学習／環境活動の拠点施設を整備。平成24年度オープン予定。
- 行政主導型の環境学習事業を官民協働型に転換するための仕組みを検討。民間の環境資源(ヒト・モノ・カネ・ノウハウ)を活用し、行政負担の軽減と特徴ある環境学習の展開を図る。

## 共に学び、活動する「空間」



### エコを学ぶ

#### 多目的ルーム

- 講演会や研修、ワークショップなど幅広い環境活動に使用

### エコを伝える

#### 展示ルーム

- 市民の環境活動の成果や学生の作品、企業の環境技術などを展示

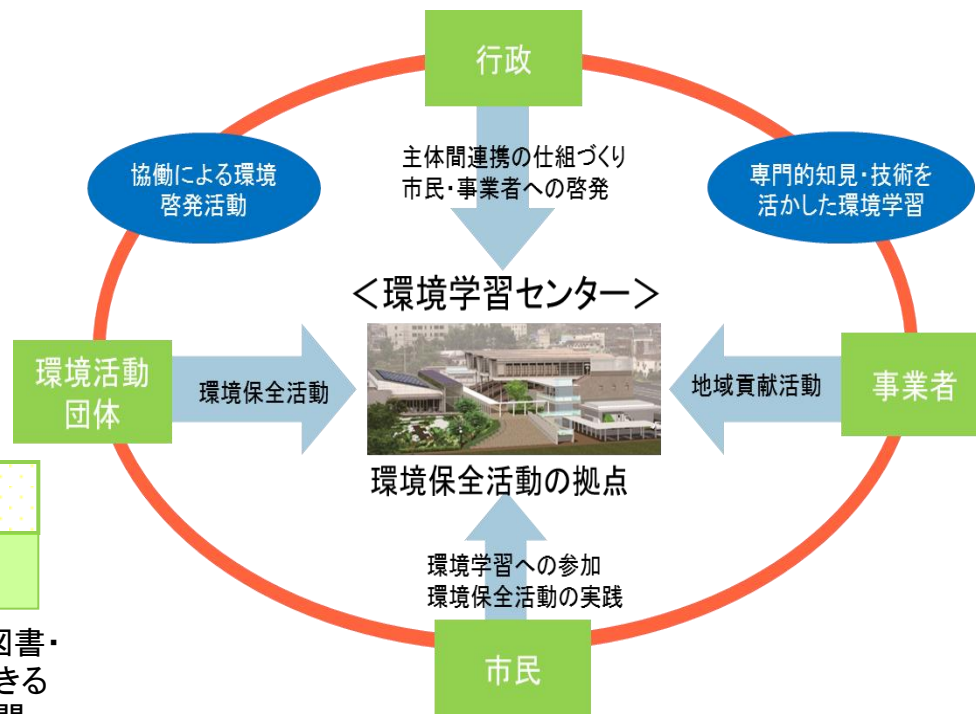
### エコを調べる

#### ライブラリー

- 環境に関する図書・資料を閲覧できる環境情報空間
- 公害の歴史展示

## 官民協働で環境学習を推進する「仕組み」

- ◆ 環境保全活動の拠点としてあらゆる主体が共に学び、各々が環境保全活動の担い手として活躍できる仕組みづくり
  - ◆ 市民・事業者・行政の協働による先進的な取組を創出
  - ◆ 活動の成果とともに、環境最先端都市のイメージを発信



# 計画の推進体制

## ◆ 倉敷市地球温暖化対策協議会

温室効果ガスの排出抑制に係る取組内容を協議し、地域が一体となって地球温暖化対策の実践を支援する組織

## ◆ 倉敷市環境保全推進本部 温暖化対策ワーキンググループ (庁内委員会)

庁内各部局を構成員とし、本計画に基づく温室効果ガスの排出量削減に向けた対策・施策を総合的かつ効果的に推進

## ◆ (仮称)倉敷市地球温暖化防止活動推進センター

温対法第24条に基づく本市の地球温暖化対策を推進するための組織（※市がNPO等の民間団体を指定）

